北九州市民の会

高齢者福祉乗車券署名運動 特集号

月間ニュース 2020.9 No.51（1）

平和とくらしを守る北九州市民の会

〒803-0817 小倉北区田町13-21 田町ビル3F
TEL 093-592-5000　FAX 093-571-4346

WEB：http://siminnokai.com
e-mail：koe@siminnokai.com

北九州市民の会　検索

高齢者福祉乗車券実現へ

9/24 署名提出へ ラストスパート

8月18日、平和とくらしを守る北九州市民の会第29回幹事会が北九州市立男女共同参画センタームーブで開催され、24名が参加しました。活発に意見発表・討論が行われ、「高齢者福祉乗車券」の実施を求める署名推進活動とその実現に向けて、各区民の会を中心に9月24日（請願署名受付締切日）に向けて全力で署名推進活動に取り組むことを決めました。各区民の会の発言を紹介します。

9月24日、北九州市議会に「高齢者福祉乗車券」実現を求める請願署名を提出します。手元にある全ての署名を持参ください。

集合時間：9月24日(木)午前10時

集合場所：北九州市議会棟1階ロビー

門司区民の会　団体への働きかけを強める

能美はるみさん

門司区民の会は毎月1回役員会を行っている。旧門司競輪跡地の民間売却が強行され、第一交通グループに売却された。門司区民の会は、市の担当局に出前講演を要請してただしたところ、「居住ゾーン」であるはずの売却地の約40％が商業施設（食品、日用品、化粧品、酒）となることがわかった。大きな計画変更であるとの意見が多く出された。今後、関係住民や周辺商店者に知らせる活動に取り組む。高齢者福祉乗車券署名は、タクシー会社を2度訪問した。団体や返信署名などの集約で8月18日現在1562筆であり、目標の18．8％にとどまっている。団体への働きかけなどを再度強めて取り組んでいく。

北九州市全体で取り組む

新婦人小倉北支部

浦野順子さん

高齢者福祉乗車券署名を新婦人しんぶんに折り込んで取り組んでいる。小倉北区は交通の便が良いため切実な要望としては弱い点があるが、タクシーでも使えるのはいいねと言う声も聞かれる。北九州市全体で取り組むことが大事であり、新婦人支部内に高齢者福祉部3人の担当者を中心に9月24日の署名提出に向けてがんばる。

タクシーにも使えるのは魅力

小倉南区民の会

黒坂佳男さん

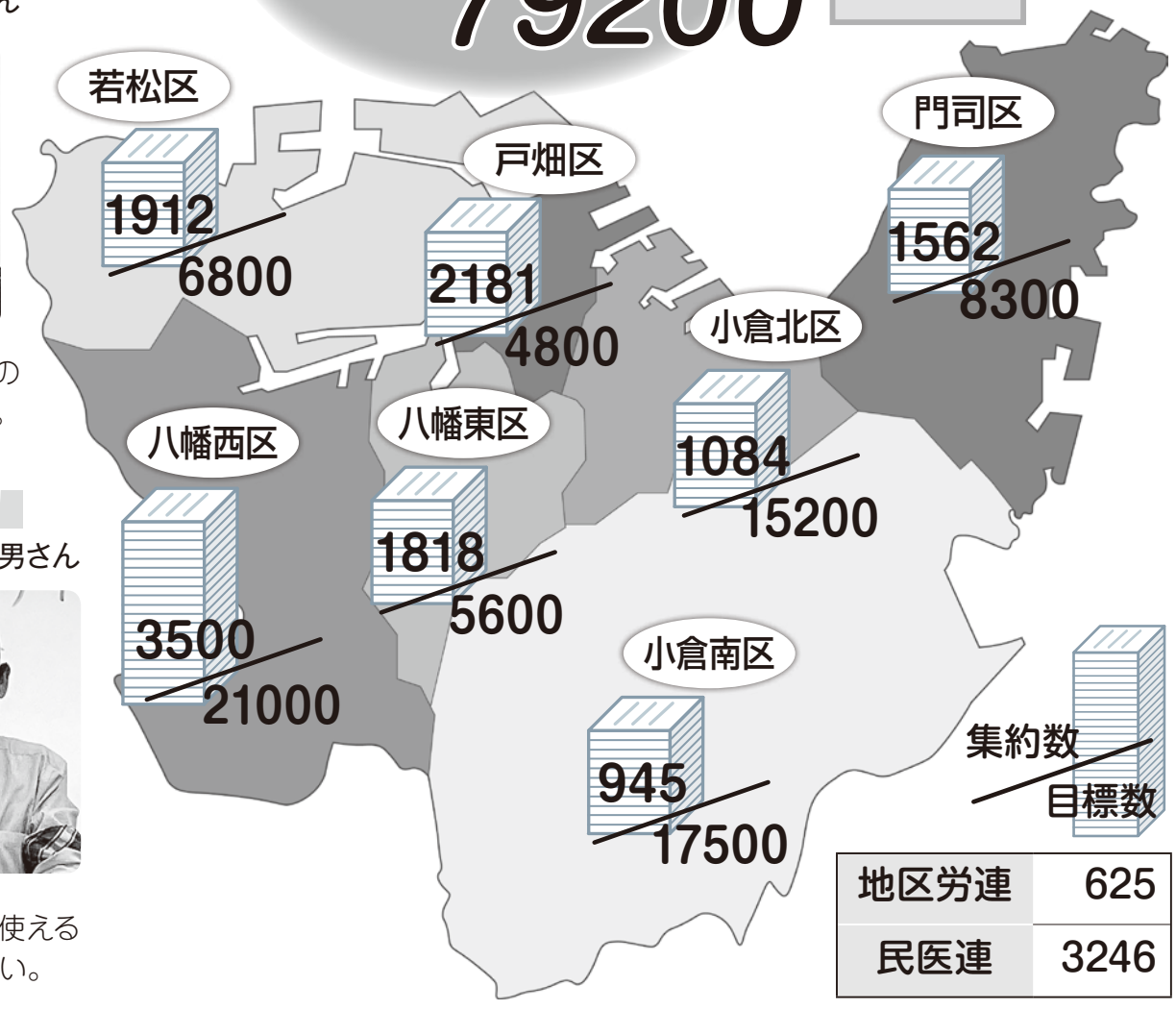
小倉南区の湯川・葛原地域では公共交通の便が悪く、高齢者の足を確保する問題について関心がとても強い。322号線沿いの西鉄田川線の便を減らされている。廃止されたら公共交通の空白地域になる。おでかけ交通の検討がされているが、赤字では業者が大変だ。高齢者福祉乗車券は病院や買い物にタクシーを使えるのは魅力だとの声がある。1人でも多くの署名を集めたい。

各区の署名集約数（8月21日時点）

返信用封筒到着数（9/1時点）

門司	129通
小倉北	138通
小倉南	187通
若松	38通
八幡東	207通
八幡西	573通
戸畑	91通
計	1363通

注：若松区と戸畑区は7月以前に独自で返信用封筒を使って取り組みを行っていました。募金8万5300円（9月2日現在）



地区労連	625
民医連	3246

高台や高齢者が多い地域に重点配布

八幡西区民の会

川副通夫さん

八幡西区民の会は、7月上旬から返信用封筒付の署名を西区所帯数の3割（23000通）に向けて配布を進めた。市民の会からの提起を受けて、6月中旬から徹底してチラシ等が到着次第、セットをして配布を始めた。配布先は高台地域、高齢者が多いと思われる地域を重点に各地域の会、団体と配布先を相談した。各地域の会は雨や暑い中、精力的に配布し、約1ヶ月で配布が終わっている。

５３０通が返ってきており１１００筆となっている。署名用紙の隅に添え書きもあり、84歳の方は「今年の2月に急遽、免許を返納し廃車した。良い制度だから是非お願いします」と書かれている。また、家族以外の人の名前も多く書かれており、関心の高さを感じる。

少しでも署名数を上積みしたい

女性の会

前田由美子さん

９月５日に街頭での宣伝行動を行うことにしている。コロナ禍の中、その場での署名集めは難しいが、返答封筒を送ったりして、取り組んでいきたい。みんなに高齢者乗車券の実現を訴えて、少しでも署名を上積みしていきたい。

公共交通と一体的に考え実現したい

若松区民の会

山内涼成さん

月1回の役員会で署名行動日を決めて取り組んでいる。若松でも地域差があって交通の不便地域に、役員でアンケート用紙を配布してきた。公共交通と一体として考えることが大切で、若松区の幹線は市営バスが走って、今度、支線にマイクロを使った試験運行がはじまる。ドアtoドアはタクシーを活用することで高齢者福祉乗車券の実現が必要。

まずは目標50%に向けて取り組む

戸畑区民の会

青木信恭さん

高齢者福祉乗車券署名は、5月30日までに、「とばたの風」読者への返信用封筒を使っての署名協力や新婦人による西鉄ストアースピナの駐車場を借りての署名収集など団体の取り組みで1657筆を集約した。9月末まで延長となって、市民の会作成の返信用封筒を使って市営住宅や集合住宅を中心に2700セットを配布し91通が返ってきた。署名には平均2～3筆が書かれている。8月18日現在で2181筆が集まり、目標4800の４５.4％となっている。まず５０％を目標に団体代表者会議を開催して新たに相談目標をきめて取り組むこととしている。

自治会会長にも署名協力を要請

八幡東区民の会

河村智重子さん

7月4日、各団体の参加で１２０００枚の署名用紙と封筒、募金袋、八幡市民会館の存続署名をセットし、地域を決めて配布した。自治会の会長へも要請を行った。返信は8月3日現在で１４８通の２７８筆が返ってきた。高齢者の1人暮らしが多いこともあって3分の1が1筆だった。現在1818筆で目標の５６００の３２．５％となっている。引きつづきがんばる。

高齢者福祉乗車券とは？

高齢者福祉乗車券

署名の要求内容は「高齢者や障がい者の通院や買い物、社会参加支援のために、タクシー・JR・モノレール・バス等で利用できる高齢者福祉乗車券の実現を求めるというもの。まずは福岡市がおこなっている「高齢者乗車券交付事業」並みの、70歳以上の市民に所得に応じて年間8000円～1万2000円の乗車券（市営地下鉄、JR、バス、タクシー）を交付する内容を求めるとしています。

他の政令市の取り組みは、制度内容や事業規模に差はありますが、20政令市のうち13市（札幌、仙台、新潟、横浜、川崎、名古屋、京都、大阪、堺、神戸、広島、福岡、熊本）が高齢者への交通割引制度を実施しています。北九州市は「おでかけ交通」の事業費として平成30年度決算で運行・車両購入・利用促進助成で1500万円でした。

高齢者への交通割引補助制度　主な政令市比較一覧

	新潟市	京都市	堺市	神戸市	広島市	福岡市	熊本市
事業名称	高齢者おでかけ促進事業	敬老乗車証交付事業	おでかけ応援カード事業	敬老乗車証交付事業	高齢者公共交通機関利用助成事業	高齢者乗車券交付事業	熊本市優待証事業
開始年度	平成 28 年～	昭和 48 年～	平成 16 年～	昭和 48 年～	平成５年～	平成 13 年～	平成８年～
対象条件	６５歳以上	70 歳以上	65 歳以上	70 歳以上	前年度所得額が 159 万 5000 円以下の 70 歳以上	前年度所得額が 200 万円未満の 70 歳以上	70 歳以上
助成内容	申請により、路線バス、コミュニテイーバスを半額で利用できる	所得に応じた利用者負担で年間乗り放題	１乗車 100 円で利用できる	小児料金割引で利用できる。希望者は各種定期券を半額で購入可。所得に応じ年間３万円の無料乗車券を交付	年額 3,000 円まで利用可能なＪＲ回数券、タクシーチケットなど	所得に応じて年額 12,000 円または 8,000 円まで利用可能な交通用福祉カード、タクシー乗車券など	初回発行時 800 円の利用者負担でＩＣカードを交付。乗車運賃の２割を自己負担。所得に応じて年１回 1,000 円分のチャージ支給
利用者負担	初回作成時２０００円、バス運賃の半額を自己負担	0 円～ 15,000 円	初回発行時に 1000 円、１乗車につき 100 円	１乗車につき小児料金	なし	なし	初回発行時 800 円
助成対象交通機関	民営バス、コミュニテイーバス	市営バス・地下鉄、民営バスなど	路面電車、民営バス、乗合タクシー	市営バス・地下鉄、民営バスなど	ＪＲ，渡船、バス、乗合タクシー、タクシー	市営地下鉄、ＪＲ、バス、乗合バス、渡船、タクシーなど	市電、民営バス
交付人数（平成３０年度実績）	38,300 人	139,900 人	149,662 人	241,639 人	148,315 人	147,344 人	68,121 人
予算額（令和元年度）	3 億 2500 円	57 億 1667 万円	4 億 9357 万円	37 億 835 万円	4 億 2188 万円	16 億 1760 万円	4 億９245 万円